



学校法人帯広大谷学園 帯広大谷短期大学

福祉の木奨学基金趣意書



福祉の学びの先に
人や社会を幸せにする
仕事 await している

ご挨拶

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本学園の保育・教育・研究活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学園は親鸞聖人の本願念仏の御（み）教えを建学の精神としています。大いなる「いのち」に目覚め、人間として生きる喜びを見出すことを願いとしています。

さて、帯広大谷短期大学は、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人700回御遠忌を記念して、1960（昭和35）年に帯広市で開学し、その後1988（昭和63）年に現在の河東郡音更町に移転して今日に至っています。創立以来、一貫して浄土真宗の人間観に基づいた仏教の精神による真の主体性をもった人間形成を教育の目標とし、この間の卒業生は9,700名余を数えるとともに、高等学校、幼稚園を要する学校法人帯広大谷学園の中核として、地域にあるべき高等教育機関の役割を果たすべく邁進しております。

十勝で唯一の短期大学として、これまで多くの有為な卒業生を社会に輩出するとともに、地元行政機関、企業、各種団体や教育機関等と連携しながら、学生教育、インターンシップの実施、学外実習教育、ボランティア活動及び生涯学習事業の支援など、地域貢献にも取り組んでいるところです。

近年、我が国は少子・超高齢社会を迎え、介護職員の人材不足が深刻な社会的問題となっており、介護福祉関係の従事者の確保が極めて重要な社会的課題であり、介護職を目指す要員の養成が急務となっております。

このたび、経済状況が厳しい状況の中で介護職を目指すとともに、本学で学ぶ学生に対し、学費等の支援を行うため、新しく奨学金制度として「介護福祉士養成のための奨学金基金」（愛称「福祉の木奨学金」という。）を設立し、個人及び法人等を対象に幅広く寄付金を募りたく存じます。

つきましては、経済状況の厳しさが増す折ではございますが、同窓生、学生保護者、地元企業・団体、個人及び学園教職員をはじめとして、多くの皆様に本趣旨のご理解を賜わりまして、是非とも苦学する本学社会福祉科・介護福祉専攻の学生たちのために、本学園・本学にお力添えを賜りたく、格別のご支援を心からお願い申し上げます。

2017(平成29)年6月1日

学校法人 帯広大谷学園

理事長 伊 藤 篤

帯 広 大 谷 短 期 大 学

学 長 田 中 厚 一

募集要項

【募集名称】介護福祉士養成のための奨学金基金【愛称「福祉の木奨学金基金」】

【募集目的】帯広大谷短期大学の社会福祉科・介護福祉専攻へ進学する学生の要員養成、社会的貢献、学修及び経済的支援を行うための資金調達のため

【募集期間】2017(平成29) 年6月1日～2027(平成39)年3月31日

【寄付金の内容】

対 象	個 人	法 人
寄付金額／1口	1口 1千円	1口 1万円

【申込方法及び払込方法】

同封の「振込用紙」に必要事項をご記入の上、最寄りの郵便局でお振込ください。

また、振込用紙をご希望の方、他行等ゆうちょ銀行以外からのお振込をご希望される方は、短期大学事務局総務課までお問い合わせください。

【振込口座】

ゆうちょ銀行（音更大通）	
口座記号番号	02740-5-102804 番
口座名義	オビヒロオオタニタンキダイガクフクシノキショウガクキ 帯広大谷短期大学福祉の木奨学金基金

*ATM等からお振り込みいただく場合

ゆうちょ銀行（音更大通）	
店名	二七九（ニナナキュウ）店（279）
口座番号	0102804

*振込手数料はご負担願いますようお願い申し上げます。

【寄付者名の公表について】

本学ホームページ及び学園広報誌にお名前を掲載させていただきます。お名前の掲載を希望されない方は、その旨を振込用紙欄の寄付者名掲載希望なしの欄に☑を入れてください。

【個人情報の取り扱いについて】

寄付にご協力いただいた皆様の個人情報は、礼状・領収書の発送、寄付データ処理等、本基金に係る業務のために使用し、「学校法人帯広大谷学園個人情報保護規程」に基づき適正に管理いたします。

【募金の目的終了後の措置】

募金の目的が終了した場合は、「福祉の木奨学金基金」の残額を、本学学生教育の資金として活用していきます。

【税制上の優遇措置について】

1. 個人の場合

所得税の控除について、税額控除制度または所得控除制度のいずれかを、確定申告の際にお選びいただくことができます。

【税額控除制度】(租税特別措置法の定める要件を満たした学校法人)
所得税率に関係なく所得税額から直接控除されるため、小口の寄付金支出者において、減税効果が高くなります。
寄付金額が年間2,000円を超える場合には、その超えた金額の40%に相当する額が、当該年度の所得税額から控除されます。

$$(\text{寄付金額} - 2,000 \text{円}) \times 40\% = \text{税額控除額}$$

税 額 — 除 税 額 控

*税額控除額は、その年の所得税額の25%が上限となります。

【所得控除制度】(特定公益増進法人への寄付)
所得控除制度は、所得控除を行った後に所得税率をかけるため、所得金額に対して寄付金額が大きい場合には、減税効果が大きくなります。

$$\text{寄付金額} - 2,000 \text{円} = \text{所得控除額}$$

所得金額 — 除 税 額 控 × 税 率 = 税 額

*税額控除となる寄付金額は、その年の総所得金額の40%が上限となります。

2. 法人の場合

【損金算入限度額】(特定公益増進法人への寄付)
寄付金の一定限度額まで損金に算入できます。

$$(\text{資本金} \times 0.375\% + \text{当該年度所得} \times 6.25\%) \times 1/2$$

【受配者指定寄付金】
日本私立学校振興・共済事業団を通じて、寄付金の金額を損金に算入することができます。事前手続きがありますので、お申し出ください。

寄付金額全額の損金算入が可能

帯広大谷学園の ビジョン

- 1 建学の精神である親鸞聖人の御（み）教えを学ぶ教育
- 2 ひとりひとりの個性を大切にした教育課程の展開
- 3 十勝を支える唯一の総合学園として地域に貢献

十勝と出会う・自分と出会う 十勝唯一の総合学園



インターンシップサポート(短×高)

帯広大谷短期大学

頼れる短期大学が十勝にある
～十勝の短期大学として地域との連携重視～

帯広大谷高等学校

個性が光る 君が光る一感性の光がここからかがやきはじめる～
～進路・個性・適正重視のコース制と科目選択～



蘭華農園収穫祭(短×幼)

音更大谷幼稚園

ともに生き・ともに育ち合う保育
～充実した教育・心の保育～



90周年記念報恩講(幼×高×短)

特色のある幼・高・大連携を推進

沿革

1923(大正12)年	3月28日	帯広大谷女学校設置認可*
	4月1日	帯広大谷女学校開設
1960(昭和35)年	1月20日	帯広大谷短期大学設置認可
	4月1日	帯広大谷短期大学開学 国語科開設
1961(昭和36)年	4月1日	国語科を国文科に名称変更
1962(昭和37)年	4月1日	生活科学科設置
1965(昭和40)年	4月1日	生活科学科栄養士課程設置
1966(昭和41)年	4月1日	社会福祉科設置
1985(昭和60)年	4月1日	国文科(100→50)入学定員変更
1988(昭和63)年	3月18日	帯広大谷短期大学 河東郡音更町に移転
1989(平成元)年	4月1日	社会福祉科を社会福祉専攻(50)及び介護福祉専攻(40)に分離 生活科学科(100→60)入学定員変更
1996(平成8)年	4月1日	国文科を日本語日本文学科に名称変更
1999(平成11)年	4月1日	全学科男女共学、社会福祉科介護福祉専攻(40→80)入学定員増
2000(平成12)年	4月1日	日本語日本文学科(50→40)、生活科学科(60→55)入学定員変更 生活科学課程を地域社会システム課程へ名称変更
2002(平成14)年	4月1日	生涯学習センター設置
2005(平成17)年	4月1日	日本語日本文学科を総合文化学科へ名称変更
2012(平成24)年	4月1日	社会福祉科介護福祉専攻(80→40)入学定員変更
2013(平成25)年	4月1日	社会福祉科社会福祉専攻を社会福祉科子ども福祉専攻へ名称変更
	8月29日	生涯学習センターを廃止し、地域連携推進センター(地域連携室・生涯学習室・国際交流室)設置
	9月11日	短期大学の組織改革により、短期大学運営会議等を設置
2014(平成26)年	4月1日	総合文化学科を地域教養学科へ名称変更、及び(40→50)入学定員変更 生活科学科地域社会システム課程募集停止に伴い、生活科学科(55→40)入学定員変更
2016(平成28)年	8月1日	アドミッション・センター設置、地域連携推進センターにリエゾン・オフィス設置
2017(平成29)年	4月1日	社会福祉科子ども福祉専攻(50→70)、地域教養学科(50→40)、社会福祉科介護福祉専攻(40→30)入学定員変更



帯広大谷短期大学

〒080-0335 北海道河東郡音更町希望が丘3番地3
TEL: 0155-42-4444 FAX: 0155-42-4499
<http://www.oojc.ac.jp>

・問合せ先：帯広大谷短期大学 総務課